

仙台市障害者等保健福祉基礎調査項目（平成28年度実施）

仙台市障害者等保健福祉基礎調査項目（令和4年度実施）

■一般市民の方用（11）

■一般市民の方用（11） ※H28年度実施の内容から追加・修正箇所は下線

項目	質問	回答方式	備考																																																					
A-1 基本的な属性 記入者①	このアンケートの記入者はどなたですか。 1 本人 2 本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える 3 本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える	単数回答	H28新規																																																					
A-2 基本的な属性 居住地	あなたのお住まいの区はどこですか。 1 青葉区 2 宮城野区 3 若林区 4 太白区 5 泉区 6 その他	単数回答	H18実施 継続																																																					
A-3 基本的な属性 年齢	あなたの年齢は何歳ですか。 □歳（平成28年11月1日現在）	数値	H18実施 継続																																																					
A-4 基本的な属性 性別	あなたの性別を教えてください。 1 男 2 女 3 その他	単数回答	H18実施 継続																																																					
A-5 基本的な属性 手帳の有無	障害者手帳についておたずねします。 （ア）以下の①～③の障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。 （イ）また、お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手帳名</th> <th>（ア）有無</th> <th colspan="6">（イ）等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 身体障害者手帳</td> <td>1 持っている</td> <td>1級</td> <td>2級</td> <td>3級</td> <td>4級</td> <td>5級</td> <td>6級</td> </tr> <tr> <td>2 持っていない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 療育手帳</td> <td>1 持っている</td> <td>1 A</td> <td>2 B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 持っていない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ 精神障害者 保健福祉手帳</td> <td>1 持っている</td> <td>1級</td> <td>2級</td> <td>3級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 持っていない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手帳名	（ア）有無	（イ）等級						① 身体障害者手帳	1 持っている	1級	2級	3級	4級	5級	6級	2 持っていない							② 療育手帳	1 持っている	1 A	2 B					2 持っていない							③ 精神障害者 保健福祉手帳	1 持っている	1級	2級	3級				2 持っていない							複数回答	H18も実施 継続
手帳名	（ア）有無	（イ）等級																																																						
① 身体障害者手帳	1 持っている	1級	2級	3級	4級	5級	6級																																																	
	2 持っていない																																																							
② 療育手帳	1 持っている	1 A	2 B																																																					
	2 持っていない																																																							
③ 精神障害者 保健福祉手帳	1 持っている	1級	2級	3級																																																				
	2 持っていない																																																							
M-6 障害理解 福祉への関心	あなたは「障害者福祉」に関心がありますか。 1 とても関心がある 2 関心がある 3 あまり関心がない 4 関心がない	単数回答	H18実施 継続																																																					
M-7 障害理解 障害の知識①	障害には、以下のような区別があることを知っていますか。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>障害</th> <th>知っている</th> <th>知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>身体障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>知的障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>精神障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>発達障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>高次脳機能障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>難病</td><td>1</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	障害	知っている	知らない	身体障害	1	2	知的障害	1	2	精神障害	1	2	発達障害	1	2	高次脳機能障害	1	2	難病	1	2	単数回答	H18実施 継続																																
障害	知っている	知らない																																																						
身体障害	1	2																																																						
知的障害	1	2																																																						
精神障害	1	2																																																						
発達障害	1	2																																																						
高次脳機能障害	1	2																																																						
難病	1	2																																																						
M-8 障害理解 障害の知識②	障害者手帳には、以下の3種類があることを知っていますか。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手帳の種類</th> <th>知っている</th> <th>知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>身体障害者手帳</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>療育手帳</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>精神障害者保健福祉手帳</td><td>1</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	手帳の種類	知っている	知らない	身体障害者手帳	1	2	療育手帳	1	2	精神障害者保健福祉手帳	1	2	単数回答	H18実施 継続																																									
手帳の種類	知っている	知らない																																																						
身体障害者手帳	1	2																																																						
療育手帳	1	2																																																						
精神障害者保健福祉手帳	1	2																																																						

項目	質問	回答方式	質問・選択肢を変更した理由																																																					
A-1 基本的な属性 記入者①	このアンケートの記入者はどなたですか。 1 本人 2 本人から意見を聴いて、家族や支援者などが代わって答える 3 本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが答える	単数回答																																																						
A-2 基本的な属性 居住地	あなたのお住まいの区はどこですか。 1 青葉区 2 宮城野区 3 若林区 4 太白区 5 泉区 6 その他	単数回答																																																						
A-3 基本的な属性 年齢	あなたの年齢は何歳ですか。 □歳（令和4年●月1日現在）	数値	R4修正 調査開始月の1日を基準日とする																																																					
A-4 基本的な属性 性別	あなたの性別を教えてください。 1 男 2 女 3 その他 4 無回答	単数回答	R4修正 「無回答」を追加																																																					
A-5 基本的な属性 手帳の有無	障害者手帳についておたずねします。 （ア）以下の①～③の障害者手帳をお持ちかどうか教えてください。 （イ）また、お持ちの障害者手帳の等級を教えてください。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手帳名</th> <th>（ア）有無</th> <th colspan="6">（イ）等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① 身体障害者手帳</td> <td>1 持っている</td> <td>1級</td> <td>2級</td> <td>3級</td> <td>4級</td> <td>5級</td> <td>6級</td> </tr> <tr> <td>2 持っていない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 療育手帳</td> <td>1 持っている</td> <td>1 A</td> <td>2 B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 持っていない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③ 精神障害者 保健福祉手帳</td> <td>1 持っている</td> <td>1級</td> <td>2級</td> <td>3級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 持っていない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手帳名	（ア）有無	（イ）等級						① 身体障害者手帳	1 持っている	1級	2級	3級	4級	5級	6級	2 持っていない							② 療育手帳	1 持っている	1 A	2 B					2 持っていない							③ 精神障害者 保健福祉手帳	1 持っている	1級	2級	3級				2 持っていない							複数回答	
手帳名	（ア）有無	（イ）等級																																																						
① 身体障害者手帳	1 持っている	1級	2級	3級	4級	5級	6級																																																	
	2 持っていない																																																							
② 療育手帳	1 持っている	1 A	2 B																																																					
	2 持っていない																																																							
③ 精神障害者 保健福祉手帳	1 持っている	1級	2級	3級																																																				
	2 持っていない																																																							
M-6 障害理解 福祉への関心	あなたは「障害者福祉」に関心がありますか。 1 とても関心がある 2 関心がある 3 あまり関心がない 4 関心がない	単数回答																																																						
M-7 障害理解 障害の知識①	障害には、以下のような区別があることを知っていますか。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>障害</th> <th>知っている</th> <th>知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>身体障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>知的障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>精神障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>発達障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>高次脳機能障害</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>難病</td><td>1</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	障害	知っている	知らない	身体障害	1	2	知的障害	1	2	精神障害	1	2	発達障害	1	2	高次脳機能障害	1	2	難病	1	2	単数回答																																	
障害	知っている	知らない																																																						
身体障害	1	2																																																						
知的障害	1	2																																																						
精神障害	1	2																																																						
発達障害	1	2																																																						
高次脳機能障害	1	2																																																						
難病	1	2																																																						
M-8 障害理解 障害の知識②	障害者手帳には、以下の3種類があることを知っていますか。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手帳の種類</th> <th>知っている</th> <th>知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>身体障害者手帳</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>療育手帳</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>精神障害者保健福祉手帳</td><td>1</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	手帳の種類	知っている	知らない	身体障害者手帳	1	2	療育手帳	1	2	精神障害者保健福祉手帳	1	2	単数回答																																										
手帳の種類	知っている	知らない																																																						
身体障害者手帳	1	2																																																						
療育手帳	1	2																																																						
精神障害者保健福祉手帳	1	2																																																						

■一般市民の方用 (11)

項目	質問	回答方式	備考																																				
M-9 障害理解 障害の知識③	以下にあげる言葉について知っていますか。 1 ノーマライゼーション 2 リハビリテーション 3 完全参加と平等 4 バリアフリー 5 ユニバーサルデザイン 6 インクルージョン 7 特別支援教育 8 障害者週間 9 国連・障害者の十年 10 国際障害者年（1981年） 11 障害者権利条約 12 障害者差別解消法 13 ふれあい製品 14 知っているものはない	複数回答(制限なし)	H18実施																																				
M-10 障害理解 行事・催し物①	(ア) 以下に挙げる、国や仙台市などで実施している障害のある方に関する行事や催し物について知っていますか。 (イ) また、今後機会があれば、見に行ったり、参加したいものはありますか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>行事や催し物</th> <th>(ア) 知っている</th> <th>(イ) 参加したい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>① コロンカフェ</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>② パラリンピック</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>③ アビリンピック</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>④ スペシャルオリンピックス</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑤ 全国障害者スポーツ大会</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr><td>⑥ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>⑦ とっておきの音楽祭</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr><td>⑧ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>⑨ 福祉まつり ウェルフェア</td><td>9</td><td>9</td></tr> <tr><td>⑩ 知っているものはない</td><td>10</td><td>10</td></tr> <tr><td>⑪ 参加したいものは特にない</td><td>11</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	行事や催し物	(ア) 知っている	(イ) 参加したい	① コロンカフェ	1	1	② パラリンピック	2	2	③ アビリンピック	3	3	④ スペシャルオリンピックス	4	4	⑤ 全国障害者スポーツ大会	5	5	⑥ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	6	6	⑦ とっておきの音楽祭	7	7	⑧ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」	8	8	⑨ 福祉まつり ウェルフェア	9	9	⑩ 知っているものはない	10	10	⑪ 参加したいものは特にない	11	11	複数回答(制限なし)	H18
行事や催し物	(ア) 知っている	(イ) 参加したい																																					
① コロンカフェ	1	1																																					
② パラリンピック	2	2																																					
③ アビリンピック	3	3																																					
④ スペシャルオリンピックス	4	4																																					
⑤ 全国障害者スポーツ大会	5	5																																					
⑥ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	6	6																																					
⑦ とっておきの音楽祭	7	7																																					
⑧ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」	8	8																																					
⑨ 福祉まつり ウェルフェア	9	9																																					
⑩ 知っているものはない	10	10																																					
⑪ 参加したいものは特にない	11	11																																					

■一般市民の方用 (11) ※H28年度実施の内容から追加・修正箇所は下線

項目	質問	回答方式	質問・選択肢を変更した理由																														
M-9 障害理解 障害の知識③	以下にあげる言葉について知っていますか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>言葉</th> <th>知っている</th> <th>知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ノーマライゼーション</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>ユニバーサルデザイン</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>インクルージョン</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>特別支援教育</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>障害者週間</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>障害者権利条約</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>ふれあい製品</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>心のバリアフリー</td><td><u>1</u></td><td><u>2</u></td></tr> <tr><td>合理的配慮</td><td><u>1</u></td><td><u>2</u></td></tr> </tbody> </table>	言葉	知っている	知らない	ノーマライゼーション	1	2	ユニバーサルデザイン	1	2	インクルージョン	1	2	特別支援教育	1	2	障害者週間	1	2	障害者権利条約	1	2	ふれあい製品	1	2	心のバリアフリー	<u>1</u>	<u>2</u>	合理的配慮	<u>1</u>	<u>2</u>	単数回答	R4 知名度が上がってきたことにより障害理解が深まってきたと判断できる選択肢を残す。 ・リハビリテーション、バリアフリー →いずれも認知度が96.4%であり、これ以上認知度を聞き続ける必要があまりないため、削除。 ・完全参加と平等 ・国連・障害者の十年 ・国際障害者年（1981年） →知名度を向上する取組を仙台市がしてきたわけではなく、認知度を聞き続ける必要があまりないため、削除 ・障害者差別解消法 →差別解消条例について聞く設問があり、趣旨が重複しているため、削除 ・心のバリアフリー →これまで聞いてきた「バリアフリー」の認知度に対して、共生社会をつくるためのキーワードとして「心のバリアフリー」を追加 ・合理的配慮 →差別解消法のキーワードとして認知度を聞く。
言葉	知っている	知らない																															
ノーマライゼーション	1	2																															
ユニバーサルデザイン	1	2																															
インクルージョン	1	2																															
特別支援教育	1	2																															
障害者週間	1	2																															
障害者権利条約	1	2																															
ふれあい製品	1	2																															
心のバリアフリー	<u>1</u>	<u>2</u>																															
合理的配慮	<u>1</u>	<u>2</u>																															
M-10 障害理解 行事・催し物①	以下に挙げる、国や仙台市などで実施している障害のある方に関する行事や催し物について知っていますか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>行事や催し物</th> <th>(ア) 知っている</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>① コロンカフェ</td><td>1</td></tr> <tr><td>② パラリンピック</td><td>2</td></tr> <tr><td>③ スペシャルオリンピックス</td><td>3</td></tr> <tr><td>④ <u>デフリンピック</u></td><td><u>4</u></td></tr> <tr><td>⑤ アビリンピック</td><td>5</td></tr> <tr><td>⑥ 全国障害者スポーツ大会</td><td>6</td></tr> <tr><td>⑦ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会</td><td>7</td></tr> <tr><td>⑧ とっておきの音楽祭</td><td>8</td></tr> <tr><td>⑨ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」</td><td>9</td></tr> <tr><td>⑩ 福祉まつり ウェルフェア</td><td>10</td></tr> <tr><td>⑪ <u>ふれあい製品フェア</u></td><td><u>11</u></td></tr> <tr><td>⑫ 知っているものはない</td><td>12</td></tr> <tr><td>⑬ 参加したいものは特にない</td><td>13</td></tr> </tbody> </table>	行事や催し物	(ア) 知っている	① コロンカフェ	1	② パラリンピック	2	③ スペシャルオリンピックス	3	④ <u>デフリンピック</u>	<u>4</u>	⑤ アビリンピック	5	⑥ 全国障害者スポーツ大会	6	⑦ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	7	⑧ とっておきの音楽祭	8	⑨ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」	9	⑩ 福祉まつり ウェルフェア	10	⑪ <u>ふれあい製品フェア</u>	<u>11</u>	⑫ 知っているものはない	12	⑬ 参加したいものは特にない	13	複数回答(制限なし)	R4 ・デフリンピック →国際オリンピック委員会から名称の使用許可を得ているため、パラリンピック・スペシャルオリンピックスと同様に追加 ・ふれあい製品フェア →認知度や参加意欲を確認するため追加		
行事や催し物	(ア) 知っている																																
① コロンカフェ	1																																
② パラリンピック	2																																
③ スペシャルオリンピックス	3																																
④ <u>デフリンピック</u>	<u>4</u>																																
⑤ アビリンピック	5																																
⑥ 全国障害者スポーツ大会	6																																
⑦ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	7																																
⑧ とっておきの音楽祭	8																																
⑨ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」	9																																
⑩ 福祉まつり ウェルフェア	10																																
⑪ <u>ふれあい製品フェア</u>	<u>11</u>																																
⑫ 知っているものはない	12																																
⑬ 参加したいものは特にない	13																																

■一般市民の方用 (11)

項目	質問	回答方式	備考																								
M-11 障害理解 行事・催し物①	(イ) 今後機会があれば、見に行ったり、参加したいものはありますか。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>行事や催し物</th> <th>(イ) 参加したい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>① ココロカフェ</td><td>1</td></tr> <tr><td>② パラリンピック</td><td>2</td></tr> <tr><td>③ アビリンピック</td><td>3</td></tr> <tr><td>④ スペシャルオリンピックス</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑤ 全国障害者スポーツ大会</td><td>5</td></tr> <tr><td>⑥ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会</td><td>6</td></tr> <tr><td>⑦ とっておきの音楽祭</td><td>7</td></tr> <tr><td>⑧ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」</td><td>8</td></tr> <tr><td>⑨ 福祉まつり ウェルフェア</td><td>9</td></tr> <tr><td>⑩ 知っているものはない</td><td>10</td></tr> <tr><td>⑪ 参加したいものは特にない</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	行事や催し物	(イ) 参加したい	① ココロカフェ	1	② パラリンピック	2	③ アビリンピック	3	④ スペシャルオリンピックス	4	⑤ 全国障害者スポーツ大会	5	⑥ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	6	⑦ とっておきの音楽祭	7	⑧ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」	8	⑨ 福祉まつり ウェルフェア	9	⑩ 知っているものはない	10	⑪ 参加したいものは特にない	11	複数回答(制限なし)	H18
行事や催し物	(イ) 参加したい																										
① ココロカフェ	1																										
② パラリンピック	2																										
③ アビリンピック	3																										
④ スペシャルオリンピックス	4																										
⑤ 全国障害者スポーツ大会	5																										
⑥ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	6																										
⑦ とっておきの音楽祭	7																										
⑧ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」	8																										
⑨ 福祉まつり ウェルフェア	9																										
⑩ 知っているものはない	10																										
⑪ 参加したいものは特にない	11																										
M-12 障害理解 障害者との交流①	あなたの身近に障害のある方がいますか (いましたか) 。また、それはどのような場面ですか (でしたか) 。 1 自分自身または家族など身近な親族 2 自分の職場 3 仕事関係 (自分の職場以外) 4 町内会 5 趣味などの活動 6 よく利用する商店 7 身近にいたことはない 8 その他 ( ) 9 わからない	複数回答(制限なし)	H18実施 継続																								
M-13 障害理解 障害者との交流②	あなたは、障害のある方の相談相手になったり、手助けをした経験がありますか。 1 ある (問14にお進みください) 2 ない (問13にお進みください)	単数回答	H18実施 継続																								
M-14 障害理解 障害者との交流③	問12で「2 ない」を選択した方におたずねします。 そのようなことがないのはなぜですか。 1 そのような機会がなかったから 2 おせっかいになるような気がしたから 3 障害のある人とのコミュニケーションの方法がわからなかったから 4 専門家や関係者に任せた方がよいと思ったから 5 自分が何を求められているかわからなかったから 6 関わるのが面倒だったから 7 自分にとって負担になると思ったから 8 その他 ( ) 9 特にない 10 わからない	複数回答(制限なし)	H18実施 継続																								

■一般市民の方用 (11) ※H28年度実施の内容から追加・修正箇所は下線

項目	質問	回答方式	質問・選択肢を変更した理由																												
M-11 障害理解 行事・催し物②	今後機会があれば、見に行ったり、参加したいものはありますか。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>行事や催し物</th> <th>(イ) 参加したい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>① ココロカフェ</td><td>1</td></tr> <tr><td>② パラリンピック</td><td>2</td></tr> <tr><td>③ スペシャルオリンピックス</td><td>3</td></tr> <tr><td>④ <u>デフリンピック</u></td><td><u>4</u></td></tr> <tr><td>⑤ アビリンピック</td><td>5</td></tr> <tr><td>⑥ 全国障害者スポーツ大会</td><td>6</td></tr> <tr><td>⑦ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会</td><td>7</td></tr> <tr><td>⑧ とっておきの音楽祭</td><td>8</td></tr> <tr><td>⑨ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」</td><td>9</td></tr> <tr><td>⑩ 福祉まつり ウェルフェア</td><td>10</td></tr> <tr><td>⑪ <u>ふれあい製品フェア</u></td><td><u>11</u></td></tr> <tr><td>⑫ 知っているものはない</td><td>12</td></tr> <tr><td>⑬ 参加したいものは特にない</td><td>13</td></tr> </tbody> </table>	行事や催し物	(イ) 参加したい	① ココロカフェ	1	② パラリンピック	2	③ スペシャルオリンピックス	3	④ <u>デフリンピック</u>	<u>4</u>	⑤ アビリンピック	5	⑥ 全国障害者スポーツ大会	6	⑦ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	7	⑧ とっておきの音楽祭	8	⑨ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」	9	⑩ 福祉まつり ウェルフェア	10	⑪ <u>ふれあい製品フェア</u>	<u>11</u>	⑫ 知っているものはない	12	⑬ 参加したいものは特にない	13	複数回答(制限なし)	R4 ・デフリンピック →国際オリンピック委員会から名称の使用許可を得ているため、パラリンピック・スペシャルオリンピックスと同様に追加  ・ふれあい製品フェア →認知度や参加意欲を確認するため追加
行事や催し物	(イ) 参加したい																														
① ココロカフェ	1																														
② パラリンピック	2																														
③ スペシャルオリンピックス	3																														
④ <u>デフリンピック</u>	<u>4</u>																														
⑤ アビリンピック	5																														
⑥ 全国障害者スポーツ大会	6																														
⑦ 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	7																														
⑧ とっておきの音楽祭	8																														
⑨ 「心の輪を広げる体験作文」・「障害者週間のポスター」	9																														
⑩ 福祉まつり ウェルフェア	10																														
⑪ <u>ふれあい製品フェア</u>	<u>11</u>																														
⑫ 知っているものはない	12																														
⑬ 参加したいものは特にない	13																														
M-12 障害理解 障害者との交流①	あなたの身近に障害のある方がいますか (いましたか) 。また、それはどのような場面ですか (でしたか) 。 1 自分自身または家族など身近な親族 2 自分の職場 3 仕事関係 (自分の職場以外) 4 町内会 5 趣味などの活動 6 よく利用する商店 7 身近にいたことはない 8 その他 ( ) 9 わからない	複数回答(制限なし)																													
M-13 障害理解 障害者との交流②	あなたは、障害のある方の相談相手になったり、手助けをした経験がありますか。 1 ある (問15にお進みください) 2 ない (問14にお進みください)	単数回答																													
M-14 障害理解 障害者との交流③	問13で「ない」を選択した方におたずねします。 そのようなことがないのはなぜですか。 1 そのような機会がなかったから 2 おせっかいになるような気がしたから 3 障害のある人とのコミュニケーションの方法がわからなかったから 4 専門家や関係者に任せた方がよいと思ったから 5 自分が何を求められているかわからなかったから 6 関わるのが面倒だったから 7 自分にとって負担になると思ったから 8 その他 ( ) 9 特にない 10 わからない	複数回答(制限なし)																													

■一般市民の方用（11）

項目	質問	回答方式	備考
M-15 障害理解 障害者への手助け	街の中で、困っている障害のある方に出会ったときどうしますか。 1 積極的に声をかけて、必要なことを手伝う 2 声をかけられたら手伝う 3 他の人が何か手伝えれば自分も手伝う 4 手伝いたい気持ちはあるが勇気が出せない 5 責任が持てないので関わらないようにする口 6 相手の態度による 7 声をかけられないように逃げてしまう 8 その時になってみないとわからない 9 その他（ ）	単数回答	H18実施 継続
M-16 障害理解 共生社会	「共生社会」とは、障害があるかどうかに関わらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう社会のことです。あなたは、この「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか。 1 聞いたことがあり、賛同できる 2 聞いたことはあるが、賛同できない 3 聞いたことはないが、賛同できる 4 聞いたことはなく、賛同もできない 5 わからない	単数回答	H18実施 継続
M-17 障害理解 障害者のイメージ	あなたの障害のある方に対するイメージは下記のうちどれにあてはまりますか。 1 前向きに生きているのを見て励まされる 2 一生懸命がんばっていると思う 3 大変だなと思う 4 かわいそうだなと思う 5 普通の人だと思う 6 なんとなく怖いと思う 7 自分には関係ないことだと思う 8 いろんな人がいるので一概にはいえない 9 あまり関わりたくないと思う 10 考えたことがない 11 わからない 12 その他（ ）	複数回答(3つまで)	H18実施 継続
M-18 障害理解 障害者の地域生活①	あなたは障害のある方が施設や病院から退所・退院し、グループホームやアパート・借家などを利用して、地域で生活することについてどう考えますか。 1 とても賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 とても反対 5 わからない	単数回答	H18実施 継続
M-19 障害理解 障害者の地域生活②	問17で「3 どちらかという反対」または「4 とても反対」を選択した方におたずねします。その理由は何ですか（カッコ内に理由をご記入ください）。	自由記述	H22実施 継続
M-20 障害理解 障害者の地域生活③	あなたの近所の公共施設（学校の空き教室など）を、障害のある方が受けるサービスの場として活用するとしたらどう思いますか。 1 とても賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 とても反対 5 わからない	単数回答	H18実施 継続

■一般市民の方用（11） ※H28年度実施の内容から追加・修正箇所は下線

項目	質問	回答方式	質問・選択肢を変更した理由
M-15 障害理解 障害者への手助け	街の中で、困っている障害のある方に出会ったときどうしますか。 1 声をかけて、必要なことを手伝う 2 声をかけられたら手伝う 3 他の人が何か手伝えれば自分も手伝う 4 手伝いたい気持ちはあるが勇気が出せない 5 責任が持てないので関わらないようにする口 6 相手の態度による 7 声をかけられないように逃げてしまう 8 その時になってみないとわからない 9 その他（ ）	単数回答	R4 「積極的に声をかけて、必要なことを手伝う」を「声をかけて、必要なことを手伝う」に変更。
M-16 障害理解 共生社会	「共生社会」とは、障害があるかどうかに関わらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう社会のことです。あなたは、この「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか。 1 聞いたことがあり、賛同できる 2 聞いたことはあるが、賛同できない 3 聞いたことはないが、賛同できる 4 聞いたことはなく、賛同もできない 5 わからない	単数回答	
M-17 障害理解 障害者のイメージ	あなたの障害のある方に対するイメージは下記のうちどれにあてはまりますか。 1 前向きに生きているのを見て励まされる 2 一生懸命がんばっていると思う 3 大変だなと思う 4 かわいそうだなと思う 5 普通の人だと思う 6 なんとなく怖いと思う 7 自分には関係ないことだと思う 8 いろんな人がいるので一概にはいえない 9 あまり関わりたくないと思う 10 考えたことがない 11 わからない 12 その他（ ）	複数回答(3つまで)	
M-18 障害理解 障害者の地域生活①	あなたは障害のある方が施設や病院から退所・退院し、グループホームやアパート・借家などを利用して、地域で生活することについてどう考えますか。 1 とても賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 とても反対 5 わからない	単数回答	
M-19 障害理解 障害者の地域生活②	問18で「どちらかという反対」または「とても反対」を選択した方におたずねします。その理由は何ですか（カッコ内に理由をご記入ください）。	自由記述	
M-20 障害理解 障害者の地域生活③	あなたの近所の公共施設（学校の空き教室など）を、障害のある方が受けるサービスの場として活用するとしたらどう思いますか。 1 とても賛成 2 どちらかという賛成 3 どちらかという反対 4 とても反対 5 わからない	単数回答	

■一般市民の方用（11）

項目	質問	回答方式	備考
M-21 障害理解 障害者の地域生活④	問19で「3 どちらかという反対」または「4 とても反対」を選択した方におたずねします。その理由は何ですか（カッコ内に理由をご記入ください）。	自由記述	H22実施 継続
M-22 障害理解 障害者の地域生活⑤	あなたのご近所で、障害などのために困っている世帯があったらどのような対応を したいですか。 1 できる限りのお手伝いをしたい 2 多少のお手伝いをしたい 3 支援を求められたときはお手伝いしたい 4 特に何もしない 5 よくわからない 6 その他（ ）	単数回答	H18実施 継続
M-23 障害理解 もし障害者になったら①	障害者になる原因はさまざまあります。 例 「交通事故に遭い歩けなくなった。」 「病気（糖尿病など）により目が見えなくなった。」 「仕事のストレスにより重い精神病にかかって人間関係がうまく行かなくな った。」 将来、あなたは、自分や家族が障害のある状態になることがあり得ると思いま すか。 1 十分あり得ると思う 2 ある程度はあり得ると思う 3 どちらともいえない 4 あまりあり得ないと思う 5 ほとんどあり得ないと思う 6 現在自分や家族に障害がある 7 わからない	単数回答	H18実施 継続
M-24 障害理解 もし障害者になったら②	もしあなたが問22の事例のようになった場合、誰に相談したいですか。 1 家族・親戚 2 知人・友人 3 近所の人 4 職場の人 5 市の相談窓口 6 社会福祉協議会 7 民生委員・児童委員 8 民間の福祉団体・NPO 9 障害者福祉センター 10 地域包括支援センター 11 ホームヘルパー・ケアマネージャー 12 医師・保健師・看護師 13 民間の電話相談 14 インターネットの相談サイト 15 その他（ ） 16 相談できる人がいない	複数回答（3つまで）	H18実施 継続
M-25 障害理解 もし障害者になったら③	もしあなたや身内の方が障害児（脳性麻痺により歩けない、発達に遅れが見られる など）を持つ親になったとき、特に困ることはどのようなことだと思いますか。 1 経済的なこと 2 住まいのこと 3 介助などをする人のこと 4 学校や教育のこと 5 学校卒業後の進路のこと 6 その他（ ） 7 特にないと思う 8 わからない	複数回答（3つまで）	H18実施 継続

■一般市民の方用（11） ※H28年度実施の内容から追加・修正箇所は下線

項目	質問	回答方式	質問・選択肢を変更した理由
M-21 障害理解 障害者の地域生活④	問20で「どちらかという反対」「とても反対」を選択した方におたずねします。 その理由は何ですか（カッコ内に理由をご記入ください）。	自由記述	
M-22 障害理解 障害者の地域生活⑤	あなたのご近所で、障害などのために困っている世帯があったらどのような対応を したいですか。 1 できる限りのお手伝いをしたい 2 多少のお手伝いをしたい 3 支援を求められたときはお手伝いしたい 4 特に何もしない 5 よくわからない 6 その他（ ）	単数回答	
M-23 障害理解 もし障害者になったら①	障害の原因はさまざまあります。 例 「交通事故に遭い歩けなくなった。」 「病気（糖尿病など）により目が見えなくなった。」 「仕事のストレスにより重い精神病にかかって人間関係がうまく行かなくな った。」 将来、あなたは、自分や家族が障害のある状態になることがあり得ると思いま すか。 1 十分あり得ると思う 2 ある程度はあり得ると思う 3 どちらともいえない 4 あまりあり得ないと思う 5 ほとんどあり得ないと思う 6 現在自分や家族に障害がある 7 わからない	単数回答	R4修正 「障害者になる原因」→「障害の原因」
M-24 障害理解 もし障害者になったら②	もしあなたが問23の事例のようになった場合、誰に相談したいですか。 1 家族・親戚 2 知人・友人 3 近所の人 4 職場の人 5 市の相談窓口 6 社会福祉協議会 7 民生委員・児童委員 8 民間の福祉団体・NPO 9 障害者福祉センター 10 地域包括支援センター 11 ホームヘルパー・ケアマネージャー 12 医師・保健師・看護師 13 民間の電話相談 14 インターネットの相談サイト 15 その他（ ） 16 相談できる人がいない	複数回答（3つまで）	
M-25 障害理解 もし障害者になったら③	もしあなたや身内の方が <u>障害のある子ども</u> （脳性麻痺により歩けない、発達に遅れ が見られるなど）を持つ親になったとき、特に困ることはどのようなことだと思 いますか。 1 経済的なこと 2 住まいのこと 3 介助などをする人のこと 4 学校や教育のこと 5 学校卒業後の進路のこと 6 その他（ ） 7 特にないと思う 8 わからない	複数回答（3つまで）	障害児→障害のある子ども

■一般市民の方用（11）

項目	質問	回答方式	備考
M-26 障害理解 社会参加	障害のある方の社会参加の機会を広げるために、あなた自身にできると思われることは何ですか。 1 困っているような場面を見かけたら、一声かけて自分にできる手伝いをする 2 点字ブロックの上に物を置かないなど、障害のある人のための施設や設備の利用を妨げないよう注意する 3 仕事や地域活動をする上で、障害のある方のことも考えてみる 4 障害のある方についてのボランティア活動に参加する 5 簡単な挨拶ができる手話などのコミュニケーション方法を身につける 6 障害疑似体験（アイマスクや車いすを使っの体験）など参加してみる 7 病気や障害のことについて理解を深める 8 その他（ ） 9 特にない 10 わからない	複数回答(制限なし)	H18実施 継続
M-27 障害理解 ボランティア活動①	あなたは障害のある方に関わるボランティア活動に参加していますか（したことがありますか）。 1 している（したことがある） 2 ない	単数回答	H18実施 継続
M-28 障害理解 ボランティア活動②	今後、障害のある方と関わるボランティア活動へ参加したいと思いますか。 1 参加したい（現在、している）〔（1）の質問にお答えください〕 2 参加したくない 3 わからない	単数回答	H18実施 継続
M-29 障害理解 ボランティア活動③	問27で「1 参加したい（現在、している）」を選択した方におたずねします。あなたが今後参加したい（現在参加している）障害のある方に関わるボランティア活動は次のどれですか。 1 話し相手 2 外出する時の付き添い 3 外出時の送迎（移送ボランティアなど） 4 スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流 5 家族が外出したときの託児・見守り 6 手話通訳、要約筆記 7 本や情報誌などの点訳や朗読 8 募金活動 9 家や庭の手入れ 10 買い物や諸手続きの代行 11 介助者が緊急で不在のときの支援 12 家事の手伝い 13 地震などの災害時の連絡や支援 14 その他（ ）	複数回答(制限なし)	H18実施 継続
M-30 障害理解 ボランティア活動④	障害のある方に関わるボランティア活動を活発にするために、どのようなことが必要だと考えますか。 1 情報提供や相談窓口の充実 2 子どものときから、学校などでボランティア学習・体験活動を行う 3 入門講座、障害者体験、手話・点字などの専門的講習の開催 4 ボランティア同士の交流の促進 5 保険加入や交通費などの実費支給 6 NPO、ボランティアグループなどの育成 7 ボランティア活動者への感謝状やマスメディアでの紹介など社会的な評価 8 ボランティア休暇・休学制度など活動しやすい条件整備 9 その他（ ） 10 わからない	複数回答(3つまで)	H18実施 継続

■一般市民の方用（11） ※H28年度実施の内容から追加・修正箇所は下線

項目	質問	回答方式	質問・選択肢を変更した理由
M-26 障害理解 社会参加	障害のある方の社会参加の機会を広げるために、あなた自身にできると思われることは何ですか。 1 困っているような場面を見かけたら、一声かけて自分にできる手伝いをする 2 点字ブロックの上に物を置かないなど、障害のある人のための施設や設備の利用を妨げないよう注意する 3 仕事や地域活動をする上で、障害のある方のことも考えてみる 4 障害のある方についてのボランティア活動に参加する 5 簡単な挨拶ができる手話などのコミュニケーション方法を身につける 6 障害疑似体験（アイマスクや車いすを使っの体験）など参加してみる 7 病気や障害のことについて理解を深める 8 その他（ ） 9 特にない 10 わからない	複数回答(制限なし)	
M-27 障害理解 ボランティア活動①	あなたは障害のある方に関わるボランティア活動に参加していますか（したことがありますか）。 1 している（したことがある） 2 ない	単数回答	
M-28 障害理解 ボランティア活動②	今後、障害のある方と関わるボランティア活動へ参加したいと思いますか。 1 参加したい（現在している）〔問29へお進みください〕 2 参加したくない 3 わからない	単数回答	
M-29 障害理解 ボランティア活動③	問28で「参加したい（現在している）」を選択した方におたずねします。あなたが今後参加したい（現在参加している）障害のある方に関わるボランティア活動は次のどれですか。 1 話し相手 2 外出する時の付き添い 3 外出時の送迎（移送ボランティアなど） 4 スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流 5 家族が外出したときの託児・見守り 6 手話通訳、要約筆記 7 本や情報誌などの点訳や音訳 8 募金活動 9 家や庭の手入れ 10 買い物や諸手続きの代行 11 介助者が緊急で不在のときの支援 12 家事の手伝い 13 地震などの災害時の連絡や支援 14 その他（ ）	複数回答(制限なし)	R4 朗読→音訳
M-30 障害理解 ボランティア活動④	障害のある方に関わるボランティア活動を活発にするために、どのようなことが必要だと考えますか。 1 情報提供や相談窓口の充実 2 子どものときから、学校などでボランティア学習・体験活動を行う 3 入門講座、障害者体験、 <u>視覚障害のある方への声かけ・誘導研修</u> 4 手話・点字・音訳などの専門的講習の開催 5 ボランティア同士の交流の促進 6 保険加入や交通費などの実費支給 7 NPO、ボランティアグループなどの育成 8 ボランティア活動者への感謝状やマスメディアでの紹介など社会的な評価 9 ボランティア休暇・休学制度など活動しやすい条件整備 10 その他（ ） 11 わからない	複数回答(3つまで)	R4 朗読→音訳 3 に「視覚障害のある方への声かけ・誘導研修」を追加 4 は専門的演習なので、別項目に

■一般市民の方用（11）

項目	質問	回答方式	備考
M-31 障害理解 支えあいの仕組みづくり	地域における住民相互の支えあいの仕組みづくりで、あなたが特に必要だと思うことはどのようなことですか。 1 住民自ら進んで、日頃から相互のつながりをもつように心がけること 2 町内会や自治会が中心となって、住民相互の交流活動を積極的に進めること 3 仕事を持つ人、退職者が地域の活動に参加しやすい環境づくりを進めること 4 NPOやボランティアの活動を盛んにすること 5 地域の人たちが気軽に集まることができる場所や機会づくり 6 支える人と支えられる人を調整する機関 7 支えあいのきっかけとなる事業の創設と推進 8 地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの形成 9 行政による地域の福祉活動の相談窓口を充実させること 10 市民センター（公民館）の地域活動の機能を強化すること 11 高齢者や障害者など、多様性を認め合い支えあう意識の啓発 12 行政、事業者、NPO、ボランティアと住民組織との連携 13 その他（ ） 14 特に必要と思うことはない	複数回答(3つまで)	H18実施 継続
M-32 障害理解 行政と地域住民との関係	福祉サービスを充実させていく上で、行政と地域住民との関係について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 1 社会福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない 2 行政の手が届きにくい福祉課題については、住民が協力していくべきである 3 福祉課題については、行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである 4 まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が支援すべきである 5 その他（ ） 6 わからない	単数回答	H18実施 継続
J-33 権利擁護 条例の認知	あなたは、2016年4月より施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。また、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」を知っていますか。 1 法律または条例を知っている 2 条例を知らない	単数回答	H28新規
M-34 障害理解 差別・偏見①	あなたは障害を理由とした差別を見たことがありますか。 1 ある（問34にお進みください） 2 ない 3 わからない	単数回答	H18実施 継続
M-35 障害理解 差別・偏見②	問33で「1 ある」を選択した方におたずねします。それはどのような内容でしたか。 1 周囲の視線、態度、言葉 2 交通機関を利用する時の、運転手や乗客からのいやな態度 3 仕事での待遇の差 4 窓口職員の対応の悪さや、いやな態度 5 学校、職場でのいじめ 6 その他（ ）	複数回答(制限なし)	H18実施 継続
M-36 障害理解	障害のある方への理解は深まってきていると思いますか。障害者全体と障害種別についてお答えください。	単数回答	H18実施 継続

■一般市民の方用（11） ※H28年度実施の内容から追加・修正箇所は下線

項目	質問	回答方式	質問・選択肢を変更した理由									
M-31 障害理解 支えあいの仕組みづくり	地域における住民相互の支えあいの仕組みづくりで、あなたが特に必要だと思うことはどのようなことですか。 1 住民自ら進んで、日頃から相互のつながりをもつように心がけること 2 町内会や自治会が中心となって、住民相互の交流活動を積極的に進めること 3 仕事を持つ人、退職者が地域の活動に参加しやすい環境づくりを進めること 4 NPOやボランティアの活動を盛んにすること 5 地域の人たちが気軽に集まることができる場所や機会づくり 6 支える人と支えられる人を調整する機関 7 支えあいのきっかけとなる事業の創設と推進 8 地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの形成 9 行政による地域の福祉活動の相談窓口を充実させること 10 市民センター（公民館）の地域活動の機能を強化すること 11 高齢者や障害者など、多様性を認め合い支えあう意識の啓発 12 行政、事業者、NPO、ボランティアと住民組織との連携 <u>13 企業が障害者雇用を進めることをはじめ、社会貢献としての取り組みを進めること</u> 14 その他（ ） 15 特に必要と思うことはない	複数回答(3つまで)	R4 行政と住民だけで進めるものではないので、選択肢13に質問追加									
M-32 障害理解 行政と地域住民との関係	福祉サービスを充実させていく上で、行政と地域住民、企業との関係について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。 1 社会福祉を実施する責任は行政にあるので、住民や企業は特に協力することはない 2 行政の手が届きにくい福祉課題については、住民や企業が協力していくべきである 3 福祉課題については、行政と住民、企業が協力し合い、ともに取り組むべきである 4 まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が支援すべきである 5 その他（ ） 6 わからない	単数回答	R4 選択肢に行政と住民・企業との関係の必要性を問うよう、設問に溶け込ませる。									
J-33 権利擁護 条例の認知	あなたは、平成28年4月より施行された「 <u>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）</u> 」を知っていますか。また、「 <u>仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例</u> 」を知っていますか。 ※障害者差別解消法・・・すべての国民が、障害があるかないかに関わらず共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とした法律のこと。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">知っている</th> <th style="text-align: center;">知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）</u></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td><u>仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例</u></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table>		知っている	知らない	<u>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）</u>	1	2	<u>仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例</u>	1	2	単数回答	R4修正 法律または条例の認知度を聞いていたが、法律・条例それぞれの認知度を聞く形式に修正。
	知っている	知らない										
<u>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）</u>	1	2										
<u>仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例</u>	1	2										
M-34 障害理解 差別・偏見①	あなたは障害を理由とした差別を見たことがありますか。 1 ある（問35にお進みください） 2 ない 3 わからない	単数回答										
M-35 障害理解 差別・偏見②	問34で「ある」を選択した方におたずねします。それはどのような内容でしたか。 1 周囲の視線、態度、言葉 2 交通機関を利用する時の、運転手や乗客からのいやな態度 3 仕事での待遇の差 4 店舗や施設の職員の対応の悪さや、いやな態度 5 学校、職場でのいじめ 6 その他（ ）	複数回答(制限なし)										
M-36 障害理解	障害のある方への理解は深まってきていると思いますか。障害者全体と障害種別についてお答えください。	単数回答										

■一般市民の方用 (11)

■一般市民の方用 (11) ※H28年度実施の内容から追加・修正箇所は下線

項目	質問	回答方式	備考																																																
障害理解の状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>障害種別</th> <th>(ア) 深まってきた</th> <th>(イ) 少し深まってきた</th> <th>(ウ) あまり深まっていない</th> <th>(エ) 深まっていない</th> <th>(オ) わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者全体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>身体障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>知的障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>精神障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>発達障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>難病患者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	障害種別	(ア) 深まってきた	(イ) 少し深まってきた	(ウ) あまり深まっていない	(エ) 深まっていない	(オ) わからない	障害者全体	1	2	3	4	5	身体障害者	1	2	3	4	5	知的障害者	1	2	3	4	5	精神障害者	1	2	3	4	5	発達障害者	1	2	3	4	5	高次脳機能障害者	1	2	3	4	5	難病患者	1	2	3	4	5		
	障害種別	(ア) 深まってきた	(イ) 少し深まってきた	(ウ) あまり深まっていない	(エ) 深まっていない	(オ) わからない																																													
	障害者全体	1	2	3	4	5																																													
	身体障害者	1	2	3	4	5																																													
	知的障害者	1	2	3	4	5																																													
	精神障害者	1	2	3	4	5																																													
	発達障害者	1	2	3	4	5																																													
	高次脳機能障害者	1	2	3	4	5																																													
難病患者	1	2	3	4	5																																														
M-37 障害理解 理解促進の取組	<p>あなたは、障害のある方に対する理解を深めるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの時から障害のある方とふれあう機会を増やす</li> <li>2 イベント・スポーツ・レクリエーション・文化活動などを通じた障害のある人と市民との交流の機会を増やす</li> <li>3 障害のある方に対するボランティア活動を支援する</li> <li>4 テレビ・新聞などマスメディアと連携した広報活動の充実</li> <li>5 市の広報誌などで、理解を深めるための啓発を推進する</li> <li>6 障害者団体の活動をPRする</li> <li>7 市民対象の福祉講座や講演会を開催し、障害そのものに対する知識の啓発を図る</li> <li>8 学校教育の中で障害に対する理解を深める</li> <li>9 その他 ( )</li> </ol>	複数回答(3つまで)	H18実施 継続																																																
N-38 自由記述	その他、ご意見などございましたらご自由にお書きください。	自由記述	H18実施 継続																																																

項目	質問	回答方式	質問・選択肢を変更した理由																																																
障害理解の状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>障害種別</th> <th>(ア) 深まってきた</th> <th>(イ) 少し深まってきた</th> <th>(ウ) あまり深まっていない</th> <th>(エ) 深まっていない</th> <th>(オ) わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者全体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>身体障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>知的障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>精神障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>発達障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能障害者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>難病患者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	障害種別	(ア) 深まってきた	(イ) 少し深まってきた	(ウ) あまり深まっていない	(エ) 深まっていない	(オ) わからない	障害者全体	1	2	3	4	5	身体障害者	1	2	3	4	5	知的障害者	1	2	3	4	5	精神障害者	1	2	3	4	5	発達障害者	1	2	3	4	5	高次脳機能障害者	1	2	3	4	5	難病患者	1	2	3	4	5		
	障害種別	(ア) 深まってきた	(イ) 少し深まってきた	(ウ) あまり深まっていない	(エ) 深まっていない	(オ) わからない																																													
	障害者全体	1	2	3	4	5																																													
	身体障害者	1	2	3	4	5																																													
	知的障害者	1	2	3	4	5																																													
	精神障害者	1	2	3	4	5																																													
	発達障害者	1	2	3	4	5																																													
	高次脳機能障害者	1	2	3	4	5																																													
難病患者	1	2	3	4	5																																														
M-37 障害理解 理解促進の取組	<p>あなたは、障害のある方に対する理解を深めるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの時から障害のある方とふれあう機会を増やす</li> <li>2 イベント・スポーツ・レクリエーション・文化活動などを通じた障害のある人と市民との交流の機会を増やす</li> <li>3 障害のある方に対するボランティア活動を支援する</li> <li>4 テレビ・新聞などマスメディアと連携した広報活動の充実</li> <li>5 市の広報誌などで、理解を深めるための啓発を推進する</li> <li>6 障害者団体の活動をPRする</li> <li>7 市民対象の福祉講座や講演会を開催し、障害そのものに対する知識の啓発を図る</li> <li>8 学校教育の中で障害に対する理解を深める</li> <li>9 その他 ( )</li> </ol>	複数回答(3つまで)																																																	
M-38 緊急時の対応 個別避難計画の認知	<p>あなたは、個別避難計画を知っていますか。</p> <p>※個別避難計画…災害時に自ら避難することが困難な方が、災害時にどのような避難行動をとればよいか、一人一人の状況に合わせて作成するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 知っている。</li> <li>2 知らない</li> </ol>	単数回答	R4追加																																																
M-39 緊急時の対応 ヘルプマークの認知①	<p>あなたは、ヘルプカードを知っていますか。</p> <p>※ヘルプカード…援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのカード。カードの裏面には支援してほしい内容が記載されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 意味も含めて知っている</li> <li>2 見たことや聞いたことはあるが、詳しい意味は知らなかった</li> <li>3 知らない</li> </ol>	単数回答	R4追加 障害当事者・家族には従来聞いていたが、一般市民には聞いていなかった。																																																
M-40 障害理解 ヘルプマークの認知②	<p>あなたは、ヘルプマークを知っていますか。</p> <p>※ヘルプマーク…内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、見た目ではわからない援助や配慮を必要としている方が、周りの方の援助を得やすくなるようお知らせするマーク</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 意味も含めて知っている</li> <li>2 見たことや聞いたことはあるが、詳しい意味は知らなかった</li> <li>3 知らない</li> </ol>	単数回答	R4追加																																																
N-41 自由記述	その他、ご意見などございましたらご自由にお書きください。	自由記述																																																	